

一般質問通告書

佐野市議会議長 様

受付	番号	17
	令和	3年 5月27日
	午前・午後	2時54分

議会名	令和 3 年 第 4 回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号 22番	田所良夫	
答弁を求める者 (選択してください)	市長 ・ 副市長 ・ 教育長 ・ 担当部局長		
一般質問時に使用する資料の有無 (選択してください)	あり (資料提示 ・ 資料配付 ・ モニター使用) なし		
大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)		
1. 出流原 PA 周辺総合物流開発整備について	<p>①出流原 PA 周辺総合物流開発整備の現状をお聞きします。</p> <p>②出流原 PA 周辺総合物流開発整備の中で、国際防災拠点の創設とはどのようなものを想定しており、その機能性や必然性等の考えをお聞きします。</p> <p>③出流原 PA 周辺への防災関連企業の誘致に対する考えをお聞きします。</p>		
2. 循環型社会の構築に向けた、本市の鳥獣被害防止計画と鳥獣害防止対応について			
(1) 里地・里山・奥山森林の整備と鳥獣被害の現状について	①循環型社会の構築に向けた、里地・里山・奥山森林の整備に対する考えをお聞きします。		

<p>(2) 鳥獣害防止対応について</p>	<p>②本市の鳥獣被害の現状をお聞きすると共に被害の多い鳥獣の上位三つをお聞きします。</p> <p>③平成30年度計画作成令和2年2月変更の佐野市鳥獣被害防止計画にある、捕獲等に関する取り組みについて、ニホンジカに対してどのような取り組みをしてきましたか。</p> <p>④佐野市鳥獣被害防止計画では令和元年度から令和3年度までニホンジカの捕獲計画数は毎年1,600頭とありますが捕獲数の実績及び達成比はどれくらいですか。</p> <p>①佐野市鳥獣被害防止計画にあるニホンジカの捕獲計画数を達成するために必要な課題要素は何であると認識しておりますか。</p> <p>②佐野市鳥獣被害防止計画では、被害の傾向としてニホンジカについては、市内山地のほぼ全域に分布しており、分布域周辺での水稻や野菜の被害が目立っているが、林業被害も相当発生していると述べております。このことから被害を受けている農林業者、若者等への狩猟免許取得を促進すべきと考えるが当局の見解を求めます。</p> <p>③平成28年に森林法が改正され「市町村森林整備計画」においても鳥獣害対策の記載を必須とするなど鳥獣害防止対策を推進することとされた現在、「森林経営計画の作成者」にも猟友会の狩猟者と同等の捕獲助成金を支給してはと考えるが当局の見解を求めます。</p>
------------------------	--